



働くものの味方



あべ 阿部せいろく 精六 さんと 県民に笑顔がもどる県政を

革新県政の会 あべ 精六 (愛労連労働相談センター所長)

「元気な愛知」と言われ、トヨタは2兆円もの利益ですが、働く人の給料は逆に減っています。求人が増えたといっても派遣や請負などの不安定な仕事ばかり。その上国民には「痛み」ばかり押しつけています。

県政をくらしの防波堤に

神田県政はトヨタや大企業のためには大盤振る舞い。しかし福祉や保育への補助金、私学助成などはバツサリ。トヨタに対しても堂々とモノを言ってきたあべさんで県政を変えましょう。

あべさん
助けて!!

あべさんが所長をつとめる労働相談センターには12月だけで150件の相談。

「週90時間も働いてるのに残業代は固定で7万」「給料が約束と違うと言ったら子ども染みたこと言うなと解雇」などとんでもない事件が多くあります。

パロマ・トヨタ系偽装請負事件などを解決

センターではパロマのパート解雇やトヨタ車体精工での労災隠し・偽装請負の事件を解決してきました。偽装請負などの違法行為を追っていくとトヨタにぶつかります。トヨタの下請け単価引き下げで、労災や社会保険料、家族の国保料すら払えない業者が急増しています。中小企業もたいへんです。

トヨタ言いなりではいかん

神田県政はトヨタのための道路や空港・港湾事業ばかりにお金をつぎ込んできました。また大企業労組が圧倒的影響力をもつ連合愛知・民主党いいなりではこれまでの県政を変えることはできません。

働くものを 応援する県政に

- ①大企業に対して正社員の雇用を増やそう求めます。
- ②サービス残業・偽装雇用などを一掃するため、相談窓口を充実します。
- ③「職場に必要なルールブック」を全高校生に配布し、働くルールを知らせます。
- ④パートや、バイト、派遣など非正規雇用で働く人たちを守るための労働講座を開講します。
- ⑤障害者雇用の拡大に努めます。

みんなの県政

号外 2007年1月発行 革新県政の会
名古屋市中区富士見町9-16 有信ビル1F tel.052-332-2371 fax.052-332-7200
愛知県知事選挙の政策とあべ精六さんを紹介します。

あなたも

残業代がなくなる!

今度の 労働法制改悪で

年収400万円以上の労働者にホワイト
カラーイグゼンプションが導入されたら...

年間**114万円**カット!

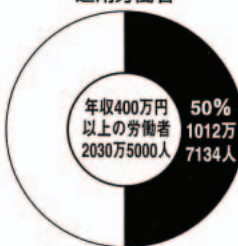
1人当たり横取り額 114万3965円

支払い残業代
45万653円

不払残業代
169万3312円

総額**11兆6千億円!**

ホワイトカラーイグゼンプション
適用労働者



資料:労働総研試算より

ホワイトカラーイグゼンプションって!?

ただ働き合法化の「労基法改悪」

頑張って、たまった仕事をやり終えたのに残業代も払われない、体をこわしたり過労死すると「自己責任」。そんなとんでもないことを合法化する「労働基準法改悪案」が今度の国会に出されます。

いま働きざかりの4人に一人が月に80時間以上残業。過労死となりあわせの長時間労働。事態を悪化させる法律は許せません。



トヨタや中電のサービス残業摘発がきっかけ

トヨタや中電でサービス残業が横行しました。愛労連や職場の労働者の告発で次々と労基署が是正指導に。すると県経営者協会は愛知労働局に「ホワイトカラーイグゼンプション」の導入を要求。「違法なら法律を変えればよい」という財界の身勝手な要求です。

一日8時間労働で まともにくらせる賃金を

パートや派遣・請負で働く人の多くが1時間千円足らず、中には最低賃金法すれすれの700円という低賃金も。「8時間くらいではとても食べていけない」という実態です。ワーキングプアを解決するためには誰もが8時間労働で暮らせる賃金が必要です。

中部財界言いなりの県政はダメ!

トヨタにもものが言えるのは**あべさん**です



今、県政に求められるのは 『格差社会』への対策です

- ◆若者が希望をもって働けるよう正規社員としての雇用を拡大すること
- ◆県立高校授業料減免制度・私学助成の拡充、無利子奨学金
- ◆市町村が行う小中学校就学援助制度への支援
- ◆子育て世代の男女労働者に対する配慮を促進する施策
- ◆リストラ・失業など生活困難世帯へのセーフティネットの拡充
- ◆国民健康保険料等の減免制度を県として支援

